

経営理念

私たちは安心・安全を第一義として お客様の食と健康に貢献します

■ 事業目標

地鶏の生産・加工・販売を経営の柱として、地域の人々に貢献する環境優良企業を目指します。

■ 事業姿勢

あくまでもお客様第一主義を貫き、安全で安心な良質な商品・サービスを提供します。

■ 経営姿勢

お客様、組合員、地域社会、取引先、社員等全ての利害関係者を尊重し、簡明・迅速な意志決定と公正で透明性の高い経営を行うと共に、組合員への適正な利潤の還元と持続的な企業価値の増大を図ります。

■ 社会的役割

良き企業市民として責任を自覚し、社会との調和をはかり、その発展に貢献します。

■ 企業風土

一人ひとりが、自らを高め、創造的で自由闊達な、活力ある集団を目指します。



生産者紹介

はかた地どり農場は 福岡県内に10ヶ所

はかた地どりの飼育農場は福岡県内10ヶ所。
安定供給を見すえた安全管理・リスクマネジメント
の下、はかた地どりは大切に育てられています。



地鶏とは

地鶏の定義

いわゆる「地鶏」とは、以下の条件を網羅する鶏の総称を指します。

鶏の品種	日本在来種の純系、または在来種の血液率が50%以上のもの
飼育期間	75日以上
飼育方法	28日令以上は平飼い飼育していること
飼育密度	28日令以降は1㎡当たり10羽以下で飼育すること

日本在来種とは

明治時代までに成立、定着したものが「日本在来種」とされています。

軍鶏 (しゃも)

黄斑プリマスロック (サザナミ)

コーチン

矮鶏 (ちゃぼ)

尾長鳥

対馬地鶏

薩摩地鶏

ロードアイランドレッド

比内鶏

烏骨鶏 (うこっけい)

など38品種



※地鶏に関する特定JAS規格は平成11年7月に施行(日本農林規格)

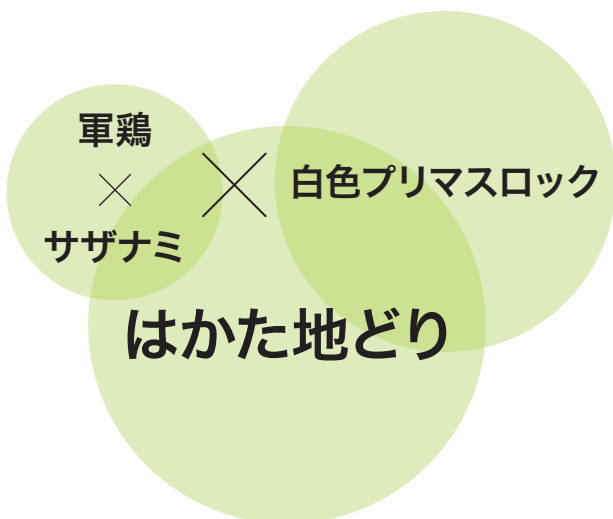
はかた地どり

はかた地どりの由来

福岡は昔ながらの食文化が受け継がれた地域であり、郷土料理として「はかた水炊き」や「がめ煮(筑前煮)」など鶏肉を使った料理があります。

郷土料理に適したコクと旨味を兼ね備えた鶏肉を作りたいという思いから、福岡県農業総合試験場で昭和62年に「はかた地どり」は開発されました。

また、平成22年9月より福岡県農業総合試験場で従来のシャモにサザナミを掛け合せ、2つの在来種の優れた食味を活かし、新「はかた地どり」が開発されました。



はかた地どりの交配

国内の在来種(昔からいる地鶏)の中で、最も美味だといわれている軍鶏(しゃも)と、旨味成分であるイノシン酸を多分に含むサザナミを祖父母に持ち、これに肉づきのよい白色プリマスロックを掛け合せたものが「はかた地どり」です。

はかた地どりの味

「はかた地どり」は、カツオ節にも多く含まれる旨味成分であるイノシン酸がブロイラーの約4割多く、噛むほどに増す「うま味」、肉質がきめ細やかでサクッとした歯切れのよさが自慢です。

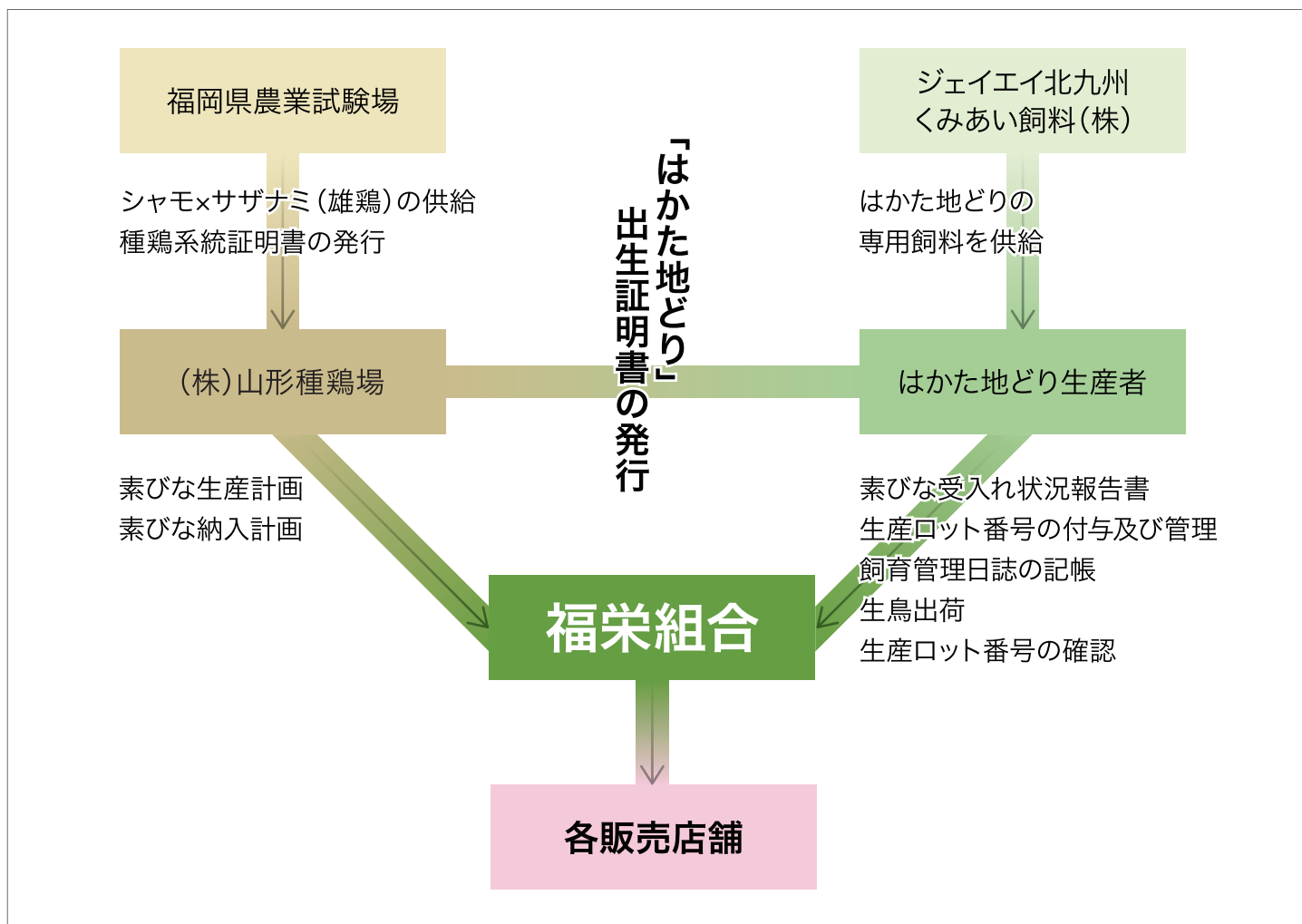


※旨味成分等の数値は平成23年度 福岡県農業総合試験場 調べ

生産・供給体制

はかた地どりの生産体制

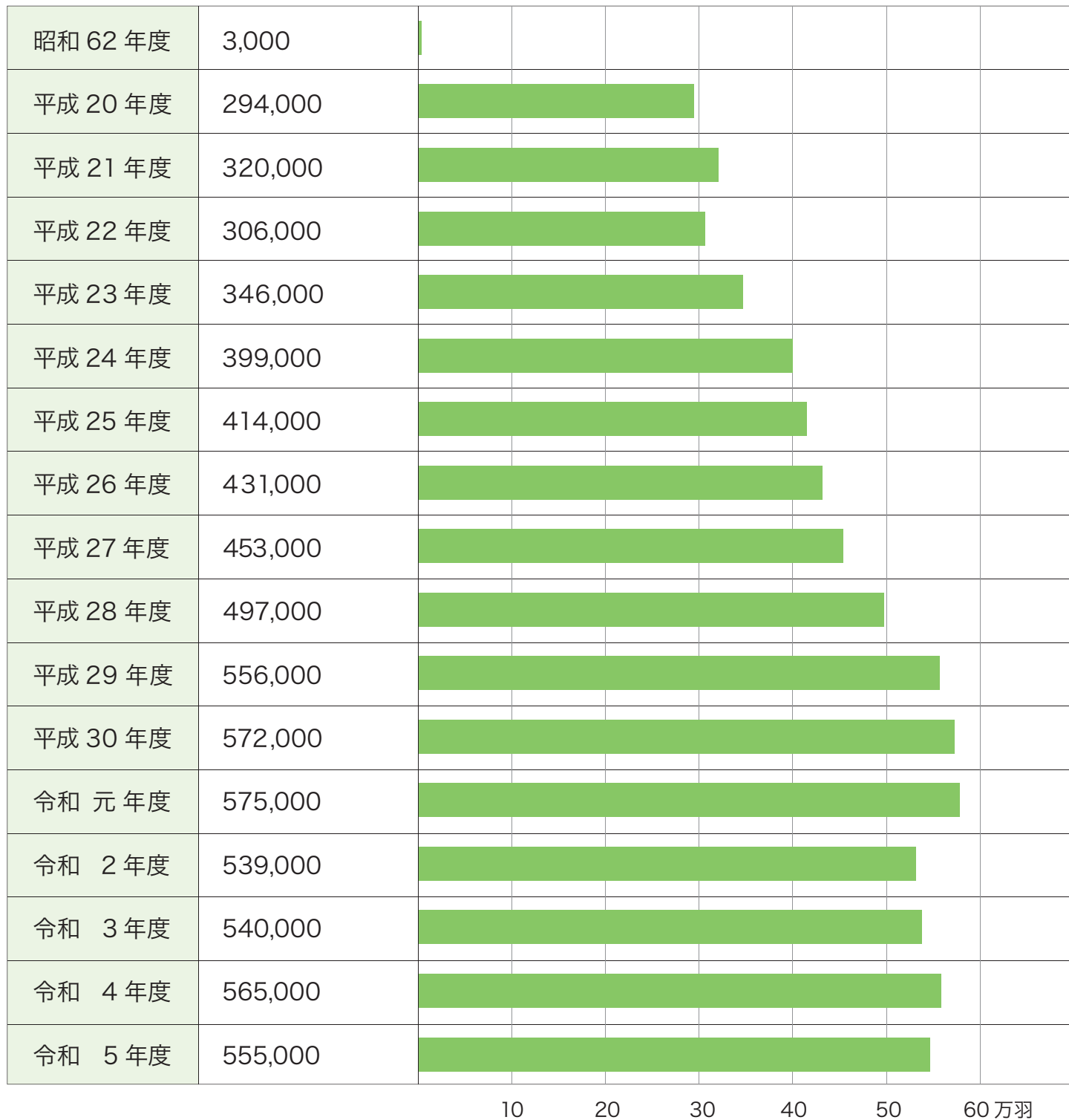
はかた地どり推進協議会を中心に生産から販売まで一貫した体制を確立、はかた地どり推進協議会で定められた飼育管理、衛生管理マニュアルにもとづき飼育、生産しています。



シャモ、サザナミの供給	福岡県農業試験場より ※種鶏系証明書発行
はかた地どりひなのふ化場	1事業所(株式会社山形種鶏場) ※はかた地どり証明書発行
生産農家数	福岡県内10農場
食鳥処理場	1事業所(農事組合法人福栄組合)

出荷羽数の推移

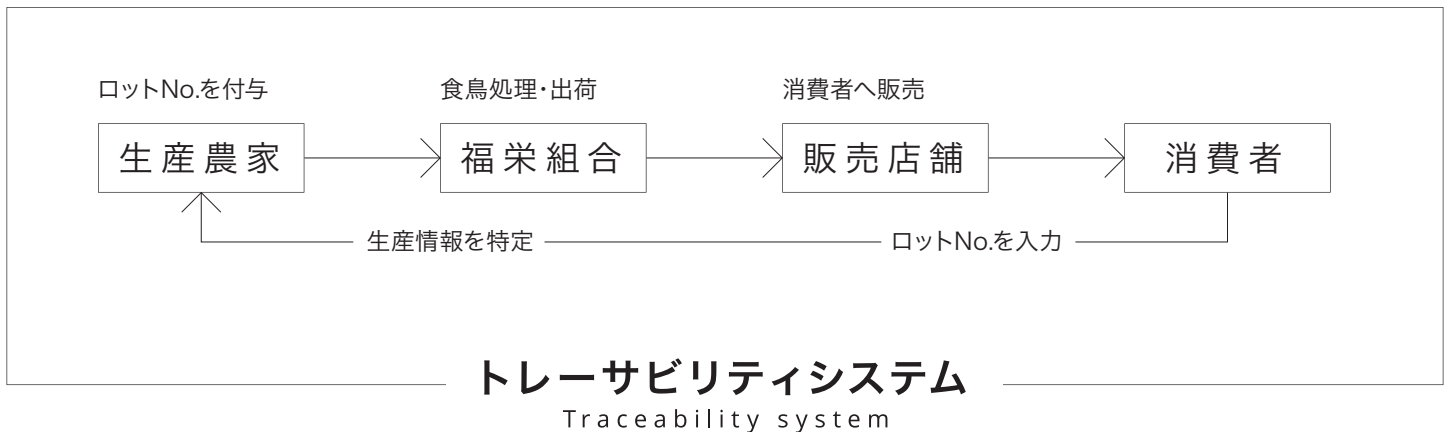
※10の位、100の位は四捨五入



安心・安全への取り組み

ロット管理による生産体制を確立

認定生産行程管理者が認定格付行程管理者となり自ら格付けを行うとともに、ロット管理による生産管理体制を確立。平成16年4月に鶏肉では全国初の「トレーサビリティシステム」を構築し、はかた地どりの生産者名、飼育方法、出荷日、処理日、飼育日数を消費者が瞬時に把握できるようになりました。トレーサビリティシステムの構築により消費者に自信をもって安心・安全な商品を提供できる体制を整えています。



■システム開始画面(PCサイト)



■システム実行画面(PCサイト)



■ロットNo.の例

農事組合法人福栄組合では、今後「親鳥の出生証明書」や「飼料の成分表示」など、より詳しい情報や、誰にでもわかりやすい表現によるサービスの展開を目指し、皆様にもっと安全に、安心して「はかた地どり」を食していただける環境づくりを築いていきます。

消費者交流

お客様からの生の声をフィードバック

当組合では、はかた地どりの食鳥処理工場見学、串打ち試食会や体験、地元主催イベントへの参加など、地域の方々との交流を中心とした活動を積極的に行うことで消費者からの生の声をフィードバックし、より安全・安心してお召し上がりいただける環境づくりに努めています。



商標制度・認定証

地域団体商標制度

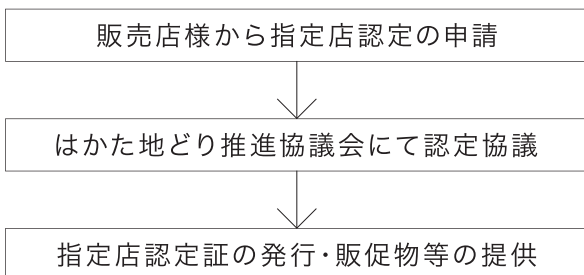
近年、特色ある地域づくりの一環として、地域の特産品等を他の地域のものとの差別化を図るための地域ブランド作りが全国的に盛んになっています。このような地域ブランド化の取組では、地域の特産品にその産地の地域名を付す等、地域名と商品名からなる商標が数多く用いられています。しかしながら、従来の商標法では、このような地域名と商品名からなる商標は、商標としての識別力を有しない、特定の者の独占になじまない等の理由により、図形と組み合わせられた場合や全国的な知名度を獲得した場合を除き、商標登録を受けることはできませんでした。このような地域名と商品名からなる商標がより早い段階で商標登録を受けられるようにすることにより、地域ブランドの育成に資するため、平成17年の通常国会で「商標法の一部を改正する法律」が成立しました。平成18年4月1日に同法が施行され、地域団体商標制度がスタートし、高い関心を集めています。「はかた地どり」は平成24年度に登録されました。



■地域団体商標制度

はかた地どり指定店認定証

福岡県やはかた地どり生産者協議会などで構成する「福岡県はかた地どり推進協議会」では、福栄組合と販売店様の協力体制を強化し、ブランドの強化と販売力の継続強化の為、指定店制度を導入いたしました。販売店様から指定店認定の申請後、はかた地どり推進協議会にて認定協議が実施されます。認定されると指定店認定証を販売店様へ発行し、順次販促物等を提供しています。



■はかた地どり指定店認定証

組合概要

「おいしさ」「安全」「高品質」を食卓へ

農事組合法人福栄組合は1968年(昭和43年)に誕生いたしました。

近年、食品に対する信頼と食に関わる企業のモラルが大きく問われていますが、私たち福栄組合は改めて「安全性は食の原点」という基本に立ち戻り、「消費と生産の架け橋」として安全・安心を第一に考え、皆様にお届けするための取り組みを一段と強化していきます。

今後も成長を続ける「はかた地どり」を宜しくお願い申し上げます。

組合基本情報

組織名

農事組合法人福栄組合

所在地

福岡県久留米市北野町高良1369-3

設立年月日

1968年(昭和43年)11月28日

電話番号

0942-78-4793

資本金

1,500万円

フリーダイヤル

0120-78-4793

役員構成

会長	秋吉	和則
代表理事	秋吉	智司
専務理事	中垣	誠
理事	秋吉	輝子

ファックス番号

0942-78-6141

電子メールアドレス

info@fukuei.or.jp

業務内容

食鳥処理販売
惣菜製造販売

組合沿革

福栄組合の歴史

1964年	昭和39年	稲作・農作のかたわらヒナ100羽入雛
1965年	昭和40年	ヒナ150羽入雛
1968年	昭和43年	農事組合法人福栄組合(生産)を組織する 佐賀県神埼郡神埼町に直営農場を建設
1969年	昭和44年	鶏舎36棟860坪を建設(ヒナ8,000羽入雛)
1970年	昭和45年	から揚げ直売店開設(事業所併設1ヶ所)
1971年	昭和46年	北野町に第2農場を建設(鶏舎10棟/540坪) ヒナ6,000羽入雛 北野町に新設の処理場を建設し販売を開始する
1972年	昭和47年	全農鳥市(現:全農チキンフーズ)と契約(東京出荷開始)
1980年	昭和55年	新工場完成(現本社工場)
1987年	昭和62年	福岡県が開発した「はかた地どり」生誕記念発表会(福岡市:12月8日)
1988年	昭和63年	「はかた地どり」が福岡県産推奨品に認定される(委託農家8戸:年間出荷羽数9万羽)
1992年	平成4年	食鳥肉検査制度が施行され処理場の改築を行う
2002年	平成14年	地鶏肉特定JAS認定を受ける(12月10日)※九州で第1号
2004年	平成16年	生産履歴情報開示システム(トレーサビリティ)を店頭(県内3ヶ所)に設置(4月23日)
2006年	平成18年	「はかた地どり」推進協議会を設立し販売強化に取り組む 「はかた地どり」の生産が25万羽/年を超える
2007年	平成19年	福栄組合創立40周年ならびに「はかた地どり」生誕20周年記念祝賀会を開催
2010年	平成22年	新はかた地どり販売開始
2012年	平成24年	地域団体商標取得 第5504323号 年間出荷羽数41万羽
2013年	平成25年	株式会社きちり様と業務提携により、はかた地どり専門料理店「福栄組合」を 銀座・池袋・渋谷・道頓堀にオープン
2016年	平成28年	金剛農場が「農場HACCP推進農場」の指定を受ける 八女市星野村に星野農場開設 東京日本橋に東京出張所開設
2017年	平成29年	金剛農場が「農場HACCP認証農場」の認証を受ける はかた地どり専門料理店「福栄組合」博多川端店オープン
2018年	平成30年	小川福岡県知事を招いて「はかた地どり 30周年記念式典」を開催
2019年	令和元年	「はかた地どり(むね肉)」が、生鮮食肉としては初めて「機能性表示食品」として 消費者庁に受理される(9月17日) HACCP(JFS-B規格)の認証を受ける(11月30日)
2022年	令和4年	地理的表示保護制度(GI)に登録 第117号(3月31日)